

令和2年度一般会計決算のポイント

＜総括＞ ※()は対前年度比

◎ 歳入・歳出は、新型コロナウイルス感染症対策関連経費の増により、前年度を大幅に上回り県政史上最大規模
歳入総額 2兆2,409億円 (+3,994億円 +21.7%)
歳出総額 2兆2,018億円 (+3,703億円 +20.2%)

- 歳入は、国庫支出金(+3,117億円)が大幅に増加
[R元]1兆8,415億円 [H30]1兆8,168億円 [H29]1兆8,377億円
- 歳出は、民生費(+959億円)、衛生費(+1,285億円)、商工費(+805億円)などが増加 [R元]1兆8,315億円 [H30]1兆8,080億円 [H29]1兆8,295億円

＜歳入の特徴＞ ※()は対前年度比

◎ 県税収入は7,758億円 (+77億円)

- 株式売買高の増加による個人県民税(株式等譲渡所得割)の増収や地方消費税の税率引き上げの影響等により増収 県税 7,758億円(+77億円、+1%)
[R元]7,681億円 [H30]7,686億円 [H29]7,845億円
- 納税率は98.4%(前年同率)で、最高記録を維持
- 収入未済額は116億円(+6億円)で、10年ぶりに前年度から増加

◎ 地方消費税清算金は2,888億円 (+521億円)

- コロナ禍によるマイナス要因を税率改正によるプラス要因が上回ったため増加
地方消費税清算金 [R元]2,367億円→[R2]2,888億円(+521億円)

◎ 国庫支出金は4,696億円 (+3,117億円)

- 新型コロナウイルス感染症対策関連の国庫支出金が大幅に増加
国庫支出金 [R元]1,578億円→[R2]4,696億円(+3,117億円)

◎ 県債残高は増加したが、県で発行をコントロールできる県債の残高は18年連続で減少

【県債発行額】

- 臨時財政対策債(△61億円)は減少したが、減収補填債(+319億円)などの増加により、県債発行額は増加 県債 2,625億円(+339億円、+14.8%)
[R元]2,287億円 [H30]2,285億円 [H29]2,523億円

【2年度末県債残高】

- 県債残高(全体)は増加したが、県で発行をコントロールできる県債(臨時財政対策債・減収補填債を除いたもの)の残高は、前年度末に比べ減少(18年連続減)
残高全体 3兆8,426億円(+262億円)
うち県で発行をコントロールできる分 1兆8,904億円(△294億円)
[R元]1兆9,198億円 … [H14]2兆5,865億円(ピーク時)

<歳出の特徴> ※()は対前年度比

◎ 民生費は、社会福祉総務費や老人福祉費などが増加 (+959億円)

- 新型コロナウイルス感染症の影響で生活福祉資金貸付促進費などが増加
[R元]12億円→[R2]571億円(+559億円)
- 新型コロナウイルス感染症対応のため、介護サービス感染症対応・再開支援事業などが皆増
[R2]147億円(皆増)

◎ 衛生費は、予防費などが増加 (+1,285億円)

- 新型コロナウイルス感染症対応のため、医療機関等へ病床確保料や設備整備補助等を行ったことや、医療従事者等へ慰労金を交付したことなどにより、新型コロナウイルス感染症対策事業費などが皆増
[R2]1,215億円(皆増)

◎ 商工費は、商工振興費などが増加 (+805億円)

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、感染防止対策協力金支給事業や中小企業・個人事業主等支援事業費などが皆増
[R2]656億円(皆増)

◎ 土木費は、河川費などが増加 (+76億円)

- 県土強靱化緊急治水対策プロジェクトの実施等により増加
[R元]376億円→[R2]443億円(+67億円)

◎ 諸支出金は、地方消費税交付金の増などにより増加 (+523億円)

- 都道府県間の清算のための地方消費税清算金の増加
[R元]1,105億円→[R2]1,319億円(+214億円)
- 県内市町村への地方消費税交付金の増加
[R元]1,215億円→[R2]1,481億円(+266億円)

◎ 新型コロナウイルス感染症対策関連経費の支出の発生

- 新型コロナウイルス感染症対策関連経費
[R元]12億円→[R2]3,030億円(+3,018億円)